

自動車メーカー提供記事（富士重工業株式会社）

■リサイクル配慮設計の推進

スバルは、自動車リサイクル法施行前より、自主行動計画を策定し、リサイクル等、環境保全への努力を最重要課題の一つとして活動を進めてきました。

限りある資源を有効に活用していく為に、リサイクルを考慮したクルマづくりを推進しています。

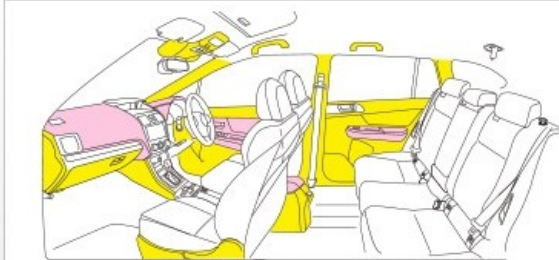
【ワイヤリングハーネス類の解体性向上】

短時間で効率よく回収できるハーネスレイアウトや構造を採用。



【リサイクルしやすい材質の採用】

内装部品にリサイクル性に優れたオレフィン系樹脂を積極的に採用。



■ オレフィン系樹脂使用部分 ■ 加飾を施す基材にオレフィン系樹脂を使用



【材質表示の改善】

材質表示をバンパー裏面だけでなく表面にも採用し、材料の分別性向上を図る。



【易解体構造の採用】

トランク/リヤゲートのスイッチオープナーにクリップ形状を採用し、ビス締めを廃止。



■使用済み自動車のハーネス類取り外しの為の情報公開

スバルではELVのリサイクル率の更なる向上の為に「使用済み自動車の銅含有部品取り外しの為の情報」を作成しています。またART（:Automotive shredder residue Recycling promotion Team/自動車残さリサイクル促進チーム）国内乗用車系メーカー5社（:スズキ、日産、マツダ、三菱、スバル）と共同で、ワイヤリングハーネス及び関連部品の解体容易設計の為に「乗用車ハーネスのリサイクル設計ガイドライン」を作成しています。これらの情報はARTのホームページで公開しています。

<http://www.asrrt.jp/service/guideline/index.html>